

Information

日本看護協会 2025 年度 全国職能別交流集会

日時▶6月12日(木)10:00~15:30

会場▶幕張メッセイベントホール、東京ベイ幕張ホール（いずれも千葉市）

三職能合同交流集会プログラム▶開会挨拶『『看護の将来ビジョン 2040 —いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護』の実現に向けて』高橋弘枝（日本看護協会会長）／「ともに描く看護の未来—ビジョンを実践に活かすために」深津恵美（北海道科学大学）、片岡弥栄子（聖路加国際大学大学院）、南田喜久美（京都九条病院）、田中千賀子（田園調布医師会立訪問看護ステーション）／ほか

全国保健師交流集会プログラム▶「保健師関連事業 2024 年度報告、2025 年度説明」保健師職能委員会委員長／特別講演「地域の人々とつながり成長していく保健師の魅力—地域のために奔走する新人保健師を描いた漫画作者の立場から」埜納タオ（漫画家）／シンポジウム「地域への愛着を基盤とした保健師活動の展開」田中茉悠（東京都西多摩郡奥多摩町）、五坪裕子（滋賀県長浜市）、玉城浩江（沖縄県北部保健所）／ほか

全国助産師交流集会プログラム▶「助産師関連事業 2024 年度報告、2025 年度説明」助産師職能委員会委員長／「2024 年度助産師職能委員会活動報告、2025 年度助産師職能委員会活動方針」上木敦子（助産師職能委員会）／講演「最新の母子保健政策の動向」木庭愛（こども家庭庁）／「助産師の地域連携による切れ目ない支援に向けた取り組み」細川喜美恵（大和高田市立病院）、金澤香苗（東京かつしか赤十字母子医療センター）／ほか

全国看護師交流集会Ⅰ病院領域プログラム▶「2024 年度看護師職能委員会Ⅰ 病院領域 活動報告、2025 年度看護師職能委員会Ⅰ 病院領域 活動方針」看護師職能委員会Ⅰ 病院領域委員長／基調講演「2040 年に向けて、看護の価値をどうつなぎ、創っていくか」小池智子（慶應義塾大学）／シンポジウム「2040 年の看護を担うあなたに伝えたい看護のこと」樋口麻衣子（富山

AYA 世代がん患者会 Colors）、野村仁美（東京山手メディカルセンター）、川崎つま子（大坪会グループ）／ほか

全国看護師交流集会Ⅱ介護・福祉関係施設・在宅等領域プログラム▶「令和 6 年度重点事業報告・令和 7 年度重点事業計画（関連事業）、2024 年度看護師職能委員会Ⅱ活動報告、2025 年度看護師職能委員会Ⅱ活動方針」看護師職能委員会Ⅱ委員長／情報提供「2040 年に向けて、人材確保の方向性」櫻井公彦（厚生労働省）／パネルディスカッション「人が集まり定着する—魅力ある看Ⅱ領域であるために」各務初恵（埼玉県看護協会）、片岡由里（和恵会ケアセンター、和恵会医療院）、岩本大希（Wyl 株式会社ウィル訪問看護ステーション）、丸山美智子（幹）／ほか

参加申込方法▶当日受付

参加費▶会員無料、非会員 1000 円

問い合わせ先▶運営事務局

〒261-8550 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1 株式会社幕張メッセ（メッセトラベルサービス）日本看護協会総会デスク

☎ 043-296-0551

✉ mts_info@m-messe.co.jp

<https://www.nurse.or.jp/home/about/sokai/index.html>

第 26 回日本医療情報学会 看護学術大会

日時▶6月27日(金)~28日(土)

会場▶カクイックス交流センター（かごしま県民交流センター）（鹿児島市）

テーマ▶量る看護—量れるものは管理できる

プログラム▶大会長講演「量る看護—量れるものは管理できる」岩穴口孝（鹿児島大学病院）／特別講演①「医療現場のデジタルシフト—残る“看護”はなんだろう？」坂本すが（東京医療保健大学、日本看護協会元会長）／②「DX の本質とははじめの一步—技術ではなく人のためのツールとして」佐藤泰格（宮崎県都城市）／③「医療 DX が導く情報化時代の医療」黒田知宏（京都大学医学部附属病院、京都大学）／シンポジウム①「DX の星をだれが照らすの

か、その光はどのように量るのか」村岡修子（NTT 東日本関東病院）／②「看護情報を適切に活用できる次世代看護職に必要なリテラシーと継続教育」菖蒲澤幸子（岩手医科大学）／③「『施設』から『地域』へ看護—介護情報の連携」宇都由美子（株式会社かごしま医療 IT センター）／④「シンブル・イズ・ベストな看護情報を目指す」瀬戸僚馬（東京医療保健大学）／⑤「看護業務・パフォーマンスの可視化による看護提供体制の最適化」森崎真美（済生会熊本病院）／⑥「AI を有効活用するための看護記録はどうあるべきか」岡田みずほ（岩手県立大学）／一般口演

参加申込期間▶[直前] 6月5日(木)~26日(木)16:00, [当日] 6月27日~28日(会場でのみ受付)

参加費▶[直前・当日] 会員 1 万円、非会員 1 万 2000 円、学生 1000 円

*学生は大学院生を除く大学生・専門学生。参加申込時に学生証のアップロード要

参加申込方法▶下記 Web サイトの参加登録ページより

問い合わせ先▶運営準備室

〒950-0994 新潟県新潟市中央区上所 1-1-24 N ビル 2F 株式会社ディモルギア内

☎ 025-282-7030

☎ 025-385-7671

✉ convention@dimiourgia.jp

<https://jami-ni26.jp/>

日本小児看護学会 第 35 回学術集会

日時▶7月5日(土)~6日(日)

会場▶仙台市中小企業活性化センター、TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口（いずれも仙台市）

テーマ▶“未来創世” —子どもと家族の今と未来を支える看護の探求

プログラム▶会長講演「子どもと家族の今と未来を支える看護の探究（仮）」塩飽仁（第 35 回学術集会長、東北大学）／特別講演（市民公開講座）「子どもの脳の発達に大切なこと」川島隆太（東北大学）／特別講

演「子ども虐待対策と養育者への支援（仮）」黒田公美（東京科学大学〔旧東京工業大学〕）／教育講演①「子どもの心を抱えること—Watch Me Play! の理解と実践を通して（仮）」御園生直美（白百合女子大学、早稲田大学社会的養護研究所）／②子ども家庭庁／③「子どもたちを支え続けて—3.11 逆境を越えていく（仮）」佐藤淳一（仙台白百合女子大学）／シンポジウム「ヤングケアラーの現状と支援（仮）」澁谷智子（成蹊大学）、田野中恭子（佛教大学）、坂本拓（精神疾患の親をもつ子どもの会こどもびあ）／共催セミナー／テーマセッション／一般演題

参加申込期間▶[後期] 6月18日(水)～7月6日(日)18:00

参加費▶[後期・当日] 会員1万2000円、非会員1万4000円、学生（大学院生、認定看護師教育課程の研修生除く）3000円

参加申込方法▶下記 Web サイトの参加登録ページより

問い合わせ先▶日本小児看護学会第35回学術集会運営事務局

〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービルディング株式会社コングレ東北支社内

☎ 022-723-3211

FAX 022-723-3210

✉ jschn35@congre.co.jp

<https://www.congre.co.jp/jschn2025/>

第1回日本高度実践看護学会学術集会

(旧:第12回日本CNS看護学会, 2025年4月より名称変更)

日時▶8月2日(土)～3日(日)

*一部プログラムは後日オンデマンド配信予定

会場▶神戸国際会議場（神戸市）

テーマ▶高度実践看護が担うイノベーション—融合する知の実装

プログラム▶会長講演「高度実践看護が担うイノベーション—融合する知の実装」藤田冬子（神戸女子大学大学院）／基調講演「融合する知を生み出す高度実践看護の創出」酒井郁子（千葉大学大学院）／特別講

演「存在の仕方、枠を超える—柔軟でしなやかな高度看護実践を目指して」西平直（上智大学グリーンケア研究所）／教育講演①「エビデンスのあるケアの普及・実装で期待される高度実践看護師の役割—Evidence-practice Gap を乗り越え、よりよいケアを広めるために」友滝愛（東京大学大学院）／②「高度実践看護におけるイノベーションの創出」松下博宣（文京学院大学大学院）／教育セミナー「アントレプレナーシップが導く高度実践看護のイノベーション」渋谷美香（長野県看護大学）／シンポジウム①「我が国におけるAPNの未来—融合する知」木澤晃代（日本看護協会）、萱間真美（日本看護系大学協議会、国立看護大学校）、本田和也（純真学園大学大学院）、市原真穂（千葉県立保健医療大学）／②「超高齢社会における高度実践看護の知の融合—実践活動から互いの知を理解する」杉原陽子（神戸市立医療センター西市民病院）、辻本雄大（クリケア訪問看護ステーション）、松本陽子（弓削メディカルクリニック）、守屋有紀子（医療法人いなだ訪問クリニック）／③「APNによるEBI（Evidence-based intervention）への挑戦」天野秀基（慶應義塾大学病院）、津田泰伸（聖マリアンナ医科大学病院）、奥野史子（伊勢赤十字病院）／④「遺伝看護とseveral specialistsの融合—今と今後の可能性」大川恵（聖路加国際病院）、今井芳枝（徳島大学大学院）、高橋佳子（国立がん研究センター中央病院）、堀口沙希（国立がん研究センター中央病院）／パネルディスカッション①「APNの臨床活用—管理者として私はこう考える」伊波早苗（淡海医療センター）、福永ヒトミ（日本医科大学武蔵小杉病院）、山本あゆみ（名古屋市立大学病院）／②「アウトカムからみた高度実践看護の特徴」乾彰弘（兵庫医科大学病院）、花房由美子（神戸市立医療センター中央市民病院）、光根美保（中津胃腸病院訪問看護ステーションいちょう並木）、森一直（愛知医科大学病院）／③「ケアのクオリティマネジメントとイノベーション」森本景子（神戸市立西神戸医療センター）、岡林志穂（高知医療センター）、松本仁美（兵庫県立はりま姫路総合医療センター）／高度実践トレーニング①「高度

実践に活かす臨床判断モデル」樽松久美子（北里大学病院）／②「APNの実践を可視化しよう！—看護の見える化を目指した研究への取り組み」井沢知子（神戸市看護大学）／倫理コンサルテーション 稲葉一人（日本臨床倫理学会）、樋口伸子（新潟県立中央病院）／指定交流集会／座談会／共催セミナー／ハンズオンセミナー／市民公開講座／交流集会／一般演題

参加申込期間▶[1次]～7月2日(水), [2次] 7月3日(木)～9月19日(金)

参加費▶[1次] 会員・賛助会員1万円、非会員1万2000円、院生7000円、学部生2000円, [2次・当日] 1万1000円、非会員1万3000円、院生7000円、学部生2000円

*院生、学部生はいずれも学生証のアップロード要

参加申込方法▶下記 Web サイトの参加登録ページより

問い合わせ先▶運営事務局

〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町83 三宮センチュリービル3F 株式会社プロアクティブ内

☎ 078-954-5160

FAX 078-332-2506

✉ jpncns2025@pacmice.jp

<https://pac-mice.jp/jpncns2025/>

日本看護教育学会第34回学術集会

日時▶[現地, オンライン] 8月24日(日), [オンデマンド] 8月29日(金)～9月12日(金)

会場▶群馬会館（群馬県前橋市）

テーマ▶看護職者としての活動を支える看護教育学研究

プログラム▶基調講演「潜在看護師からの復職と看護職者としての職業的発達—看護教育学研究を通して」植田満美子（千葉大学）／シンポジウム「研究による職業上の問題解決への取り組み—看護実践・教育の質向上を目指して」鈴木真紀（国立精神・神経医療研究センター病院）、村井佳美（埼玉協同病院）、山下暢子（群馬県立県民健康科学大学）、河内直美（群馬県立県民

健康科学大学)／演題発表及び研究批評
参加申込期間▶～8月19日(火), [オンデマンドのみ]～9月4日(木)
参加費▶参加方法にかかわらず, いずれも8000円
参加申込方法▶下記 Web サイトの参加登録ページより
問い合わせ先▶運営事務局
〒371-0013 群馬県前橋市西片貝町 4-23-4 株式会社 klar 内
☎ 027-260-9525
FAX 027-260-9322
✉ jasne-taikai@klar.co.jp
<https://g-regi.jp/jasne34/index.php>

日本看護学教育学会 第 35 回学術集会

日時▶[現地, オンライン] 8月29日(金)～30日(土), [オンデマンド配信] 9月16日(火)～10月16日(木)(予定)
会場▶日本赤十字北海道看護大学, 北見工業大学 (いずれも北海道北見市)
テーマ▶危機に立ち向かう看護学教育
プログラム▶会長講演「VUCA の時代に求められる看護教師の能力」安酸史子 (日本赤十字北海道看護大学)／特別講演「看護教育におけるハラスメント対応」蒔田覚 (蒔田法律事務所)／教育講演①「これからの危機に対応するための感染看護教育の提案」三橋睦子 (国際医療福祉大学)／②「我を忘れてナイチンゲール」栗原康 (東北芸術工科大学)／③「危機の時こそネガティブ・ケイパビリティ」谷川嘉浩 (京都市立芸術大学)／④「看護のリフレクシヨンの本質とは」三輪建二 (昭和医科大学認定看護師教育センター)／シンポジウム①「発達障害傾向にある学生への支援」西村優紀美 (元富山大学保健管理センター), 北川明 (順天堂大学), 日高艶子 (聖マリア学院大学), 越村章子 (株式会社 Cossy)／②「災害時の生活を整えるための知恵と技」加藤篤 (日本トイレ研究所), 山崎達枝 (千葉科学大学), 百々瀬いづみ (札幌保健医療大学), 根本昌宏 (日本赤十字北海道看護大学)／③「人口減少に立ち向かう看護教育—地元創成看護学」小松浩子

(近畿大学), 上山千恵子 (関西医科大学), 山川京子 (帯広大谷短期大学)／市民公開講座「LGBTQ 時代で求められる性教育」岩室紳也 (ヘルスプロモーション推進センターオフィスいわむろ)
参加申込期間▶[2 次]～9月30日(火)
参加費▶[2 次] 会員 1 万 3000 円, 非会員 1 万 5000 円, 学生 (大学院生を除く) 無料
* 学生は参加申込時に学生証のアップロード要
参加申込方法▶下記 Web サイトの参加登録ページより
問い合わせ先▶運営事務局
〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11 TFT ビル東館 9 階 株式会社プロコムインターナショナル内
☎ 03-5520-8821
FAX 03-5520-8820
✉ jane35@procom-i.co.jp
<https://procomu.jp/jane35/index.html>

第25回日本クリニカルパス学会 学術集会

日時▶10月17日(金)～18日(土)
会場▶富山県民会館, 富山国際会議場 (いずれも富山市)
テーマ▶クリニカルパスで目指そう Sustainable な医療
プログラム▶会長講演／招待講演／シンポジウム／パネルディスカッション／教育セミナー／ほか (予定)
参加費▶[早期] 会員 1 万 2000 円, 非会員 1 万 3000 円, [通常] 会員 1 万 4000 円, 非会員 1 万 5000 円
問い合わせ先▶運営事務局
〒112-0012 東京都文京区大塚 3-5-10 住友成泉小石川ビル 6F 株式会社サンブラネット メディカルコンベンションユニット内
☎ 03-5940-2614
FAX 03-3942-6396
✉ jscp2025@sunpla-mcv.com
<https://jscp2025.jp/index.html>

*掲載している情報は5月1日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。